

## 海水核種分析結果 < 沖合 >

別紙

( データ集約 : 12/19 )

採取場所	仙台湾中央 上層		相馬市沖合5km 上層		江名沖合3km 上層		大洗海岸沖合3km 上層		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成23年11月10日		平成23年11月15日		平成23年11月14日		平成23年11月16日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	90
Sr-89 (約51日)	ND	-	ND	-	0.033	0.00	ND	-	300
Sr-90 (約29年)	ND	-	ND	-	0.085	0.00	ND	-	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、11月14日, 16日, 17日, 22日公表。

分析機関：日本分析センター (Sr-89, Sr-90), 東京電力 (I-131, Cs-134, Cs-137)

( 評価 )

Sr-89, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、それぞれ告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。